臺灣日日新報
本日二十八頁
發行兼編輯人 佐々木新
發行所 臺北市榮町四丁目 臺灣日日新報社
(一) A 第一万三千二百八號 臺灣日日新報 (金曜日) 昭和十二年一月一日 (明治三十年五月九日第三種郵便物認可)

年頭辭

笑を含んで新なる難關へ
國民の協力益々緊要

光明に輝く希望に燃ゆる皇紀二千五百九十七年を迎へて、吾等日本國民は、先づ遙かに東天を拜して皇室の御榮えを祝福申上ぐると共に、躍進途上にある帝國國運の伸張に對し、多々益々勇躍し、國民共に結束して進むの誠を、同く心に誓はねばならない。國家に於ても民人に在りても、結局は心の持ち方一つに依つて、大願或は成り、或は成らずして終る。であるから帝國國民としての節操を堅持するのみでなく、進んで我が肇國の眞精神を究め闡明にして、爽快に笑ひを含みつつ有ゆる難關を突破した肇國の昔に立ち返り、今年こそ[illegible]豫想さるる多少の危局に對處するの決意を固めねばならない。一年の計が元旦に在りとするならば、今年の諸事業の成否は、一に此の年始に於ける國民の覺悟如何に繫らうものと斷ぜねばならぬ。

○

昭和十二年の始に方つて、國民が肝に銘じ覺悟せねばならぬ問題は、相當に多い。先づ第一には、本年から愈々太平洋無條約時代の第一年に入ること、更に歐洲特に獨伊兩國の[illegible]と相俟つて、何時いかなる風雲を捲起すやも量り知れぬ勢ひにある所謂準戰時代の體制に在ること。國內的には、國費の膨脹に伴ひ、租稅と物價が高騰し國民生活が新しき試練時代に入ること、並に昭和十五年の皇紀二千六百年を[illegible]三年を剩すのみとなり、この三年間を如何に有效適切に活用し、以て庶政革新の大國策を成就せしむべきかの點である。是等の諸條件が、國民の眼前に羅列してゐるのであるが、この中のいづれの問題を手中に入れても、その解決は容易ならぬ努力と智謀とを必要とする。[illegible]國民の和と財的基礎とを必要とするので、國民が是等の直面する諸問題解決に勇往いたされ[illegible]

昭和維新は、何としても近兩三年間に成し遂げねばならぬものである。目下、庶政一新の世聲と共に、有ゆる革新が叫ばれてゐるが、その內容に至つては寧ろ之からである。[illegible]昨年の二月事變に依つて成立し、其の前後の革新が促がされて、庶政一新、國民生活の安定をモットーとした[illegible]命の努力を捧げ來つたが、しかし是等の[illegible]實現は未だ十分とは言へない。斯くして今後、數議會を經て、滑々革新の外に七議會に於て、三十億の巨大な豫算が無事に成立し、[illegible]の上に移すのであるのだ。[illegible]この意味に於て、再開後の今議會が無事ならん事は、國民共同の祈りであらねばならぬ。

○

年頭に際して、吾等の更に他の一つの願望は、國民が共に和がにし、笑つて手を握り合ひつつ進むといふ事である。この事は過去數年間に亙る最も苦き經驗から、國民が自然に指導し來つたものである。焦燥や對立や抗爭が、眞に國運の障碍を招來する所以でない事を識つたからである。然らずして寧ろ、國民は、共に相和し、相扶け笑ひつつ勵し合うて進むならば、難關の峠も苦も無く越えられるのだ。要するに協力による總和は、非常に大なるものである事を悟る可きである。

○

吾等は、新年に際し、當面する內治、外交上の重要諸問題を國民と共に直視、檢討すると共に、更に戮力協心、一段の勇氣を鼓して、現下の非常時を乘り切るべく最大限の效果を巧妙に發揮するやう切望するものである。

皇國一體の美の下に 國運の前途は洋々

內閣總理大臣 廣田弘毅

光輝ある昭和十二年の新春を迎へ、現代の[illegible]に於て國家の方策を建て國民の更始一新を期する[illegible]大業であります。[illegible]國運の[illegible]愈々加はらせられることは、一億國民を擧げて欣び[illegible]に堪へざる所であります。[illegible]我が國民は[illegible]新にして謹んで慶祝申上げる所であります。國步の多事なると共に私共は[illegible]に當り、國民の更始的の意氣を以て國難打開の為、益々努力の誠を致さねばなりません。今日の時局の重大なことは今更申す迄もなく之を昭和十一年中に於ける內外の諸情勢に鑑みましても洵に思ひ半に過ぐるものがあります。

惟ふに斯の如く時勢が多事多端を極め急激なる變動を遂げつつあることは、一面國家の興隆發展の過程に外ならぬのでありまして其處に幾多の紛糾、闘爭があらうとも斷じて之に耐へ克く之が打開の方途を誤らざる時は洋々たる前途が拓けるものと信ずるのであります。而して斯様な場合に當つては須らく國民齊しく思ひを萬邦無比の我が國體の本義に致し一系無窮の皇運を扶翼し奉る為、悉く赤誠を捧げ以て擧國一體の實を濟すことこそ凡ての根本であると存じます。

○

今や我國は世界の强邦として益々重きを爲し、東亞の安定力たる地位を確立しつつあることは寔に欣榮とする所であります。又盟邦滿洲國が其の國礎愈々鞏く、國運の發展の著しきものあるは眞に同慶の至りでありまして、兩國不可分の關係を益々强化しつつ東亞全局の安定を圖り進んで世界平和人類の福祉に貢獻するは我國不動の國是であります。然るに現下各國の國情並に國際政局は頗る多事を極め不安を增大しつつありまして、就中共產コミンテルンの意圖と活動とは、最大の注意を必要とする情勢に在ります。其の根本精神に於て我國體と絶對に相容れざるは勿論、人類文化の本旨に反し、其の運動は各國の安寧秩序を害すること甚だしきはなしと申さねばなりません。近時其の策動漸く繁く而も直接の目標を我國並に滿洲國等に向け來つたに就ては到底之を默認するを許さず、依つて之が防衞の措置として日獨防共協定の締結を見るに至つたのであります。右は偏へに世界の攪亂せんとする共產主義の脅威に備へるものでありまして、志を同じうする諸國と國際的協力の實を擧げんとする趣意に外ならぬのであります。假令も、世界の大勢に着眼し我國の使命に鑑み內外の安定に寄せんとする我が眞意と公明なる態度とは共に普く諒解せらるる所なるを期待いたすのであります。隣邦中華民國に於ける今日の事態は我國の重大なる關心を以て其の推移を注視する所であります。本來同國と我國の誼を敦うせんことは我國上下の茲に希求する所であつて之れが為に必要なる努力を繼續し來つて居りますが、同國が克く時局の收拾を見、速に誠意を表明し來らんことを望んでやみません。

○

國內に於ける諸般の安定向上の為施設すべき事項は洵に多いのでありますが、就中最も急務とする各種案件は既に之を決し、議會提出の準備を進めつつありますが、朝野協力其の實現に努め所期の成果を擧げんことを熱望致す次第であります。年頭に當つて我國の國運は洋々たる前途を有する[illegible]不斷の努力を以て臨み何ものも能く之を阻むものなき[illegible]重大な時局に處し[illegible]和衷協力[illegible]國運の前途に[illegible]ことを期待[illegible]ものであります。(寫眞は首相)

列强の間に在つて 卓然、皇國の姿
臺灣の使命は重かつ大

臺灣總督 小林躋造

斗柄一轉、茲に昭和十二年の新らしき春を迎へまして、建國二千五百九十七年の悠久なる歷史を顧みまする時、私共は日本國民として洵に無上の光榮を感じ、只管聖壽の萬歲を讚へる至に勝へないのであります。私共は此年に際り、先づ以て全台五百万の官民各位と共に遙に東天に向つて、皇室の萬歲を祝し、聖壽の萬歲を頌し、皇運の彌榮を祈り上げたいと存じます。

翻つて惟ふに、近時宇內の形勢は年と共に紛擾を重ね、殊に前年來西歐諸國に於ける紛亂の情勢は眞に寒心に堪へざるものがあり、また東亞に於いても隣邦支那の近狀は、寔に言語に絶えたる有様で前途如何に落着すべきか豫測だに許されないのであります。然るに獨り我が皇國は毎に卓然として宇內列强の間に屹立し、國民亦皆其堵に安んじ、泰平を謳歌し得る所以のものは全く皇祖皇宗の御遺德と上御一人の御稜威に依るものとして感激措く能はざる所であります。今や我國に於ては、國民の自省に依り、庶政一新の機運漸く醞釀し來り、民風の作興、國防の充實、產業の興隆多く其比を見ざる所でありますが、[illegible]世界の趨勢に鑑みますれば、決して一日の偸安を許さないものがあります。

顧へつて本島の情勢を看取致しまするに、改隸既に四十有餘年を經まして、一切の文物制度舊態を改め年と共に日に新にして又日に新たなる氣運に進みつつある事は、偏に明治天皇以來歷朝聖明の廣大無辺なる恩澤に依るものであり、同時にまた歷代先輩官民各位が聖旨に副ひ奉らん事を期して、協同一致施設に努力盡瘁せられたる結果に依るものと存じまして、深く感銘する所であります。然しながら、前途を思ひまするに、本島の情勢と將來に向つて課せられたる使命とを思ひます時、私共の任務は益々重且つ大なるものあるを痛感します。茲に新しき年を迎ふるに當り、闔島官民各位と共に氣象一新明朗なる心境と緊張したる覺悟とを以て有意義に新らしき舞台に活躍致したいと存じます。(寫眞は小林總督)

肅軍と政局

城南隱士

政界は廣田內閣の危機で幕を開ける。日ソ漁業條約の不始末、對支、對ソ外交の失敗は恐くすると廣田首相の命取りとなり、議會の再開を待たず、政變となる恐れすらある。たとへ曲りなりにも議會の二月間は避け得られても、議會の二月間は[illegible]次ぐ[illegible]ちやらうし、それ以上內閣が持續けられるとは政府部內でも考へて居る者はあるまい。要するに政局の異變は時期の問題で、一月か四、五月かと云ふに過ぎん。

外交の破綻がなくとも、廣田內閣にこれ以上政局を担當し續ける力は無い。それは歷史の必然に背いて居るからぢや。二月事件はその方法が非合法ではあつたが、日本の發展と日本民族の膨脹から來た一つの宿命ぢやと言へる。一つの大きな時代を創造する陣痛的な悲劇の一つぢや。この悲劇の後始末と機構建設が廣田に與へられた第一の任務ぢや。內閣は肅軍によつて一先づ當面の任務を果したと云て居る。併しその設計なり工事なりは、新しい日本ではなくて、舊態依然たる前期日本の再建設に過ぎん。政治機構の改革とか電力國營とか、新日本らしい設計圖を掲げましちや居るが、それは柱を取り代へたり、壁を入れ変へたりする造作の手入れ程度に過ぎず、家主そのものの改造でもなく、無論改築、新築ぢや何処無い。

◇

政治の改革を斷行するためには各省に割據する局部政治の組織を打破し、強力な中央統制、國務の有機的綜合を行はなければならんが、政府のやらうとして居るのは僅かに既存の內閣に直屬する官廳を寄せ集める事と、各省の部局を統合する程度で事務を整理するに過ぎん。經濟の大改革、國民生活の眞の安定のためには、今日國民經濟の首腦を握つて居る自由主義經濟に國家的統制を加へ、資本の横暴を抑へて、經濟の弱者、即ち國民大衆を擁護するだけの決心と計畫がなからにやならん。電力統制案から政府の態度を見れば、相変らず資本家の擁護を第一として居る有様ぢやないか。さらに又國政の大刷新のためには、日本の政局を不斷に獨占して居るアングロサクソンの世界政策から脱却しなければ[illegible]

[illegible]と來たら何一つ新しいものはなく[illegible]居る。

◇

[illegible]

◇

[illegible]の運動はこれぢや。この運動の推進力となり、中堅となつて來たものは[illegible]、特に[illegible]ぢやつた。今後も恐らくは同様ぢやらう。

◇

[illegible]ば後は安心なものだ。所が寺內の方に軍人個々の政治行動はいかん、そこまではやるが軍の政治的意見は大臣一身に纏め、その總意として大臣が政治的行動に當らう。これを目標として人事と組織の刷新[illegible]その結果軍[illegible]する事を主張して居る。二月事件のやうな不祥事を根絶せしめるため、即ち肅軍を根本的に完成するためには國政の一新が行はれなければならんと要求して居るのぢや。

◇

この事は組閣の當時寺內から既に廣田へ意を押し、具體的な項目から、やる事まで約束が成つてゐる。廣田も本氣か方便か、あの時は大いに庶政を一新するかのやうな態度を見せ居つたものぢやが、元來の保守的、現狀維持的本能は踏切れず、昨今となると全く馬脚を現はしてしまうた。手形は書いたが議會と言ふ年の瀬が來て見ると、みんな不渡にした形ぢや。軍部と共に政府部內の革新派と言はれた吉田が辞めたのは內閣の誠の程を自ら暴かしたからぢや。寺內は國務大臣たる手前輕率な進退も出來んが、肅軍の大使命を持ちながら政治の改革の進まん現狀に軍の內部が平氣で居る譯がない。大不滿ぢや。外交の破局が無くともこの歷史的進化の意思から言うて內閣の運命は決まつて居る。

◇

もしこのまま廣田が舊態革新で押して行くなら、軍部はその統制された實力を擧げ現實の政治的[illegible]

國民を擧げてそれを待望し、時代はその歷史的必然を明示して居る。事件直後、庶政一新の聲が朝野を風靡したのは正にこれがためぢや。それなのに內閣はこの待望を裏切り、この必然に逆行するとしたなら、政局を担當し續ける事の出來よう筈がない。漁業條約は土壇で調印され、對支交渉は好轉しようと、國策のお題目だけは年末の公設市場のやうに賑やかぢやが、その內容も內閣の運命はすでに窮まつて[illegible]ん。今日の激步派は內外一切の既存支配力を打破し、新天地を求めて居る。內には自由主義の名による國民の不自由、不平等を打破し、外には平和の假面による世界的不平等を打破し、眞の幸福と平等と平和を求めて居る。昭和維新或は庶政一新の名に呼ばれる現狀打開[illegible]

[illegible]とう二月事件の不幸な爆發になつた。如何に維新が、已むに已まれ[illegible]とは言へ、法治國に於て非合法行為はやはり許されんのみならず、あの事件は皇軍を私用し、統帥の大權を犯した點から言ふて國體上[illegible]罪に陷らねばならんのだ。あの若い者達をあれ程に先鋭化させたについちや、舊支配勢力が余りにも維新の進行を妨げ合法手段に見切りをつけさせただと言ふ點もあらうが、軍の內部にある人的な派閥的情勢も亦有力に作用して居る事が指摘される。かう言ふ過激な思想を生んだ軍內部の情勢があると見られねばならん。ここに肅軍が叫ばれ寺內による數次の大肅正工作が行はれたわけぢや。

◇

政黨を始め保守派の方は、この肅軍に乘じて軍の政治行動を抑へつけようと[illegible]。革新運動の中堅は軍部で、一番恐ろしいのは軍部ぢやから、肅軍即ち政治行動まで禁止ると云ふ事になれ[illegible]

[illegible]

田家雪

富士山近くの田家

初春のうた

柳原白蓮

何かしらず神代を思ふ初日の出天地の中に我生かされて

○

戸あくれば勿體なくも元日の朝日てるなりたたみの上に

○

けふ一日めでたきよごとといひあへばおのづからなる和み睦ゆる

○

一つ／＼年賀の文をしらべゆきふとつまづきし思出のあり

○

新らしき年と思へば寒くとも春の心にすなほなりけり

○

かはゆかりあたためられて咲く梅のはつはつ笑み春となりぬに

○

正月の遊びにつかれしはしための未だ起きでこず門あけにゆく

○

霜まけのまだきまちぬに降りいでし雪におどろき客人かへりぬ

[redacted]

嚴かな宮中の御儀
文武百官の拜賀も受け給ふ

昭和聖代十二年の春は晴かに明けた、大御代の光のどけく大内山の翠に映えて彌々お目出度き元旦　天皇陛下には拂曉まだほの暗き午前五時三十分既に御潔身遊ばされ黄櫨染御袍の御束帶も神々しく御親ら御手に三種宗典長の御先導にて神嘉殿の南庭に降り立たせられ四方拜の御儀を行はせられ、次いで午前六時　陛下には賢所大前、皇靈殿、神殿に御拜遊ばされた後午前七時半鳳凰間に出御、朝の御膳に着かせらる、午前十時には御正裝に大勳位菊花章頸飾御佩用、皇后陛下と御同列にて鳳凰間に出御、秩父宮同妃、高松宮同妃、三笠宮各殿下を始め各皇族方に御對面、拜賀を受けさせられた後正殿に出御、廣田首相以下親任官等に賜謁、拜賀を受けさせられる、同十一時勅任官等有資格者の拜賀あり、午後一時半には自國大使を始め各國使臣同夫人等の拜賀を受けさせられるが二日も有資格者に對し、拜賀仰付けられる、また大宮御所に在はす　皇太后陛下には此の朝午前九時より午後四時まで廣田首相始め文武百官の伺候參賀を受けさせられる

伊勢神宮へ御親拜
今秋の陸軍特別大演習に

畏くも昭和十二年の春は明けた、萬民仰ぎ奉つる　天皇陛下には、御齢三十七の佳辰を迎へさせられ玉體彌々御健やかにわたらせ給ふ、内外の時局多端、聖斷を仰ぐこと愈々多きを加へまつる時に畏くも　陛下には御日常只管御精励、御運動としての御乘馬さへも御取止めあらせ給ふことも屢々であると承はる、また敬神崇祖の大御心は拜するだに畏き極みであるが今年秋の陸軍特別大演習に際しては親しく皇祖伊勢神宮に行幸御親拜あらせられるやにて　陛下の伊勢神宮御親拜は御即位以來御二度目の御ことであらせられる、また來る五月友邦英國ジョージ六世陛下戴冠式には御名代として秩父宮殿下を御差遣遊ばされ日英親善に御盡瘁あらせられるがジョージ六世陛下にはさきに我が大勳位菊花大綬章を御贈進あらせられ、此の度更に最高勳章菊花章頸飾を御贈進あらせられるやにて兩皇室の御交誼の深きに國民の感激は一入深きものがある

×

天皇陛下への御内助と皇太子殿下を始め各皇子殿下の御養育に御専念あらせ給ふ、皇后陛下には御三十五歳の春を迎へさせられた、御婦徳高き　陛下には今日ぞ昭和八年以來御四年振りに新年朝賀に御出ましあらせ給ふ御ことととて神々しき御姿を拜して朝野は一入御やかしい御事と拜察する、大宮御所に在はす皇太后陛下には御五十四歳を迎へさせられ愈々御健勝にわたらせ給ふ

×

御五歳の春を迎へさせられた皇太子殿下には愈々陽春三月新御殿赤坂離宮内の東宮假御所に移らせ給ひ尊き御身位にふさはしき御養育を受けさせられるが殿下の御養育に御心を注がせ給ふ兩陛下には完成の東宮御所御竣分のため近く行幸啓あらせられるやに承はる、御元氣に御發育の殿下には宮中顧慮の御中心であらせられるが今秋は目出度く着袴の儀を擧げさせられる御豫定と承る又義宮様には既に御乳ばなれ遊ばされ、照宮様には御十三歳、女子學習院中期一年に、孝宮様には御九歳、同前期一年に御在学、御日常は呉竹寮に在はし御修学にいそしまれるが順宮様にも新春四月からは同幼稚園に御通学、又呉竹寮の姉宮様方の下に移らせられる御豫定に承はる、かくて竹の園生の彌榮は目出度き極みである

畏し、竹の園生の御繁榮

成都、北海の兩事件
圓滿解決に達す
賠償金の授受終り
交換公文發表さる

【南京三十日發同盟】成都、北海事件に關する須磨總領事、高張兩司長間の意見一致を見たので三十日川越大使、張外交部長間に交換公文の交換を了し賠償金の授受を終つた

【東京三十一日發】成都、北海兩事件に關し須磨總領事、高宗武亜洲司長との間に最後交渉の結果意見の一致を見たので三十日午後七時川越大使、張外交部長間に交換公文の交換を了し、外務當局は三十一日午前零時四十分當局談を左の如く發表した

成都及北海事件は昨年不祥事件に關する日支交渉に當り帝國政府の執り來つた方針に交渉に對する政府の見解等は十二月十日の外務當局談の通りであるが、成都、北海兩事件については十二月三日在支日本大使館声明書の趣旨に基き主として在南京須磨總領事と高亜洲司長との間に事務的折衝を續けて來た結果、成都及び北海の兩事件に關しては十二月三十日附を以て川越大使と張外交部長との間に左記の如き文書の交換を了した

成都事件

張群外交部長より川越大使宛

本年八月廿四日、日本人四名が成都に於て暴徒に襲はれ其の内二名死亡し二名負傷せる事件に關しては、本部長は茲に政府を代表し深く慊意を表し候、本事件に際し地方官吏は事前に豫防の措置を講じたる地方當局は深く責任を感じ、又保安處司令所轄の公安局長及び公安司令は既に罷免せられ、防止上缺くる所ありたるにつき中国政府は既に該兩名を處罰し、又成都警備司令部參謀長、通常公安局長等も亦夫々既に處分され、本事件の首謀者劉成先、蘇德勝は既に死刑に處し、その他の犯人

本部長は茲に中國政府の正式の處分として中國政府は前頭手法に照らし処理したる上は本事件は既に解決せるものと致し度候、その金額は別紙を以て通知の通りに之有候、中國政府は死者瀬川、深川兩名の遺族に對して夫々實際の損害額及び相當の弔慰金を給與し負傷者田中武夫、渡邊洸三郎兩名に對しては夫々實費、實際の損害額及び相當額の弔慰金を給與致すべく候、その金額は別信を以て通知の通りに之有候、中國政府は前頭手法に照らし處理したる上は本事件は既に解決せるものと致し度候

右申越し之に對し川越大使は右を諒承すると共に死者の遺族及び負傷者に對する諸費合計中國貨幣九万八千八百八十七元一角也を受領せる旨回答した

北海事件

張群外交部長より川越大使宛

本年九月三日日本商人中野順三が廣東省北海に於て變故に遭遇せる件に關しては本部長は茲に政府を代表し誠懇の態度を以て貴國政府に對し慊意を表し候、當時北海地方の狀態特殊にして又事件忽卒の間に起りしため關係當局は相當措置を講じたるも保護周到ならざりしものあり當時實際上該地方警備の責を負ひたる人員翁照垣等は早くも既に放逐し公安局長陳鼐も亦既に職を去りたるため處分のよしなきに立至り候本事件の犯人は既に情狀の輕重に應じ夫々處分致候、中國政府は該日本商人中野順三の遺族に對し弔慰金三万元を給與致すべく候、中國政府は前頭弁法に照らし處理したる上は本事件は既に解決せるものと致し度候

右申越し、これに對し川越大使は右を諒承すると共に弔慰金中國貨幣三万元也を受領せる旨を回答した、尚在成都帝國總領事館は支那側に於て諸般の準備完了するを待ち近く再開の豫定である

蔣介石氏來朝か
磯谷中將も曩に勸說

【上海三十日赤星本社特派員發】蔣介石氏は中央の懇留で一時下野を保留、明春二月開かれる三中全會で軍事委員長專任となり、行政院長の地位は宋子文氏に讓るだらうとの觀方が政界に有力だ、然し孰れにせよ蔣氏は近く現職のまま帝化に退り長期の休養をとり他方政界建直しを策する模樣で、或は三中全會の前後国民黨内の異分子驅逐の爲め清黨運動を敢行すると傳へられてゐる、一方外務及び軍部出先當局に於ては蔣氏が休養を兼ねて日本を訪問、日本朝野と隔意なき意見を交換し、對日認識を新たにすると同時に再起後の日支交渉に對し方針を決定する上に十二分の準備をなすやう要望してゐる、既に昨年磯谷中將よりも蔣氏に對し渡日を勸めたこともあり、若し之が實現すれば日支關係の調整に於いて裨益する處少からぬものと期待されてゐる（寫眞は蔣介石氏）

蔣氏の辭表却下

【南京三十日發同盟】三十日の国民政府常務會議は蔣介石氏の辭表却下に決したが、處置方につき協議した結果、辭表却下を決定すると同時に蔣氏に對し現職の儘一ヶ月の長期休暇を與へる旨發表した

日支交渉の再開
何時か判らない
歸滬の川越大使談

【上海三十日發同盟】川越大使は三十日上海に歸着、左の如く語つた

大使は官邸にて左の如く語つた　西安事變に處し南京政府の執れる態度は注目に値する、蔣介石氏なくとも國民政府の基礎は確立されてゐる事が證明されたが南京へ行く豫定はない、日支交渉再開も何時になるか判らない

輸入許可制を廢止

【キャンベラ三十日發同盟】濠洲政府は對日通商協定に基づき七月八日以降實施した日本品に對する輸入許可制を一月一日より廢止し同時に所定の制限率及び輸入割當を實施する旨三十日公布した

内戰に關する項目を附加か

【ワシントン三十日發同盟】アメリカ政府は[illegible]ン政府軍向け飛行機その他軍需品の輸出を許可したが同措置に對する國際的非難囂々たるに鑑み來議會に於て中立法を一部修正し内戰に際しても軍需品輸出を禁止する旨の項目を附加する意向と云はれる

けふから太平洋の
防備は自由となる
對英回答は今年廻し

【東京三十一日發】英國政府は十月上旬ワシントン條約第十九條の太平洋防備制限條項の存續につき日米兩國政府に提案して來たので外務、陸、海軍三省關係當局間にこれが回答につき愼重協議を重ねてゐたが、英國の提案内容については尚十分檢討を要する事となつたので帝國政府としては年内に對英回答を發せぬ事に方針を確定した、從つてワシントン、ロンドン兩條約は潜水艦使用制限條項（ロンドン條約第四編第二十二條）を除き完全に失効し、日英米三國政府は明年一月一日より一先づ太平洋に於ける防備の自由を回復する事となつた訳である

新倫敦條約を
英佛間で批准

【ロンドン二十九日發同盟】消息通に拠ればイギリス、フランス兩國政府は一九三七年早々新ロンドン條約を批准する意向だと云はる

物價一齊高
金物は殆ど狂騰

歳末から年頭へかけて株式及び主要商品の春相場は[illegible]人氣いよく～濃化し[illegible]

旧臘二十六日三十一円弱みに大納會を告げた堂島期米は跡絶配二、三十錢高を唱へ、二十八日一月限二百六十七円まであつて二百六十二円十錢と大納會を告げた、綿絲は跡絶配落潔、現物二百八十四円といふ新高値を報じ、生糸、人絹も高く更に羊毛も高に連れて毛絲も暴騰一封度二円五十錢と一時より五十錢高を告げ砂糖も三、四十錢高、大阪の現物十八円十二錢、精糖基準沖波二十二円八十錢、東京も昂く[illegible]

金物は神値十一円五十五錢を報じ而も産地筋の買氣旺盛である、若しそれ金物類の暴騰に至つては素晴らしいものがあり丸鉄は百キロ十四円と一時より四割高、鉛は百キロ五十五円と一時より二十円高、銅は一貫二円六錢と約一円高、真鍮も一倍高、四分合を報じ[illegible]

橋爪保安課長
きのふ着任
ウンと勉強し御奉公したい

【基隆電話】新任保安課長橋爪清人氏は三十一日午後一時半入港の吉野丸で來台したが氏は明朗闊達な新人で如才なく語る

台灣は全く始めてだ、植民地に赴任するのはこの地が最初であつて交渉を受けるまでは台灣へ行かうなどとは夢だに思つてゐなかつた、赴任する節に台灣の勉強を一寸やつて見たが私は餘り詳しい先入觀のない方がABCから始めて仕事をやる上に却つて好都合でないかと考へてゐる、石垣前局長と瀧田氏位を知つてゐる位で知人友人はない、台灣は以前から比較するとその重要性が増大して來た秋だから私もその意味でうんと勉強し御奉公したい、台灣の特殊事情は共時々々に順應してやつて行く考で万事上司の指揮と下僚並に官民各位の御援助を切望する、趣味はない、まあ無芸大食とでも云ふか、スポーツは上手ではないが何んでも一通りやる、長官とはテニスの試合をやつたことが一度あるが餘り御上手でなかつたと覺えてゐる（寫眞は橋爪氏）

人事

▲本山文平氏（台灣青果社長）一日來北（日之丸館）

▲大津山周造氏（台灣製腦取締役）一日來北（日之丸館）二日ダグラスにて内地へ

▲樋口常顯氏（台南弁護士）一日來北（日之丸館）二日ダグラスにて内地へ

田端、嶺田兩局長が東京發

【東京三十日發本社支局特電】田端殖産局長は本日歸任することとなり嶺田氏を随へ「風邪の方はすつかりとれたから大丈夫だらう」と語り官民に見送られて午後九時半東京驛發西下した、次いで嶺田財務局長は相變らずスポーツマンらしい身軽な姿で小倉氏を随へ午後十時東京驛發西下した、兩局長とも三十一日神戸より蓬萊丸にて歸任する、尚中島主計課長以下主計課員一同は例により議會準備のため東京にて越年する豫定である

二日附朝刊は休刊

元旦は恒例の定休日に當るので二日附朝刊は休刊、同夕刊は六日から發行

公社債發行額
四十八億圓
最高記録を作る

【東京三十一日發】興銀調査、一月以降十二月に至る本年一ヶ年間累計の公社債發行額合計は五百五十一口、四十八億九千八百三十一万九千円で、昭和十年の夫に比し實に二十億六千三百九十五万六千円の巨大な増加を示した、之は四月以降に於て五回に亘り五分利國債總額二十一億三千六百万円の三分半利への低利借換が行はれたことを主因として國債發行額が前年に比し二十億円餘を激增したこと及び地方債が前年に比し一億五百万円餘を増加した事等に基くもので、この本年公社債發行額は從來の最高記錄たる昭和八年の三十七億八千七百万円をも遥に突破した新記錄である

謹賀新年（イロハ順）

臺灣日日新報社

河村徹

赤石定藏

石原幸作　井上清秀　林一勇　二戸松太郎　張貞智　李尊仁　小川金沐　渡辺芳郎　郭団弘　吉光栄宗　武宮帖七　高田嘉代一　中島忠平　内藤文雄　上田光起　野澤久吉　黒江正朋　山本清吉　増滿奈良男　福島直次郎　黄賀正道　江原正樹　佐々木治三郎　木下七蔵　宮本亀之助　謝守倉　島太郎　先崎平治郎　長井永太郎

伊藤道三　入貝良郎　岩瀬資居　濱中弘行　星野有終　張清徳　大澤貞吉　大平榮太郎　渡辺良太郎　吉田平三　吉永道雄　田中佐武郎　武田千代次郎　永井省三　長宗重一　上田西人　野村幸一　倉田春雄　八木季雄　松田務　深川市次　西川首　有富宇一　清徳　菊地朋蔵　宮尾進東　謝俊　平野榮　杉野嘉助

[illegible]

賀正

高雄市區長（イロハ順）

堀江町區長　井手荒三郎
平和町區長　萩原重太郎
苓雅寮區長　陳啓清
桃子園區長　李新春
過田子區長　李朝魁
内惟區長　李天輝
鹽埕町第二區長　李炳森
榮町區長　吉田清二郎
旗後町區長　揚傳漢
前金區長　高橋吉
新濱區長　高木拾郎
中州區長　孫建
田町區長（旧姓井上）　中村享
三塊厝區長　宗亮
湊町區長　安富繁三
鹽埕町第一區長　福井四磨
山下町區長　安藤彦市
北野町區長　蔡胡
哨船町區長　清島軍藏
前鎭區長　朱登籠
入船町區長　鈴木達應

高雄　新田政樹

新興製糖株式會社
取締役社長　陳啓峰

高雄銀座會

辰馬汽船株式會社
臺灣出張員　福岡勝郎

大連汽船株式會社
高雄出張員　矢野倫平
臺北出張員　松井爲次郎

辰馬汽船株式會社
大連汽船株式會社　代理店
解船運送、曳船業
苦力請負、代理業
丸一組
高雄市堀江町三ノ七一　電話番號四七番・二四〇八番
出張所　基隆市旭町三・臺北市北門町

大阪商船株式會社
近海郵船株式會社
基隆運輸交通局
專屬
高雄驛前
合資會社　武智回漕店
電話二〇二三番

高雄地所株式會社
高雄市

高雄醫師會

高雄實業協會

酒類賣捌人組合
高雄支部

高雄煙草賣捌組合
高雄支部

高雄雜貨卸株式會社
高雄市堀江町

大阪商船株式會社
高雄支店

高雄　橋本安博

船舶御用商
高雄市湊町一丁目
井上益喜商店

岡山街長　楊緯
同助役　久木崎東元
同會計役　尾林泰來
楠梓庄長　林東巳
同助役　金井天塚
同會計役　呉萬成
田寮庄長　朱萬
同助役　柯實
同會計役　李錫吉
燕巢庄長　齊藤三喜
同助役　陳萬
同會計役　趙雲夕
阿蓮庄長　齊藤勝治
同助役　陳永
同會計役　梁道興
路竹庄長　齊藤善次郎
同助役　蔡振
同會計役　林豹財
湖內庄長　角田豐太
同助役　史景
同會計役　許水順
彌陀庄長　八島善之進
同助役　李東
同會計役　李進吉
左營庄長　陳聰楷
同助役　林建
同會計役　王貴田

玉里　岩田仙吉

花蓮港　城菊雄

臺東新港　金子幸七

保證責任　玉里信用販賣利用購買組合

賀正

幣原坦

藤田倶治郎

石井龍猪

辜顯榮

赤司初太郎

後宮信太郎

木村泰治

池田卓一

增田虎藏

小松吉久

安保忠毅

臺灣瓦斯株式會社
專務取締役
米花伊太郎
臺北

林柏壽

松本雄吉

安座上眞

陳天來

古賀三千人

山中佐太郎

藤田輝三

藤原此二

肥後誠一郎

長山[illegible]美

郭廷俊

谷河梅人

高橋猪之助

昭和商行
相馬喜太郎
臺北市大正町三ノ三
電話三六八二番

鈴木學
臺北市若竹町
電話長四八八番

平田藤太郎
臺北市川端町

天龍木材株式會社臺北支店
飯田清
臺北市新富町五丁目

矢野邦美
臺北州蘇澳

中島清吉
臺北市川端町四五七

捷榮合資會社
代表社員
張清港
臺北市太平町二ノ[illegible]番地
電話二一五番・一六六番

臺北州會議員
林[illegible]

米雜穀類
砂糖麥粉
各種油類
精米業
今印麵類
ヨ吉岡德松商店
臺北市表町一丁目
電話四八番・[illegible]

臺北鐵道ホテル
臺南鐵道ホテル
臺灣鐵道食堂車
經營者 福島篤

富士ミルク
富士クリーム
鐵道（守山珈琲乳）
名物（守山グリコ乳）
株式會社守山商會出張所
臺北市大正町八條通
電話一四二三番

高雄市新濱町一ノ六四
株式會社安部幸商店臺灣支店
臺北市表町二ノ八　臺北出張店　電話參參九番・四四〇七番
臺南市大正町二ノ七五　臺南出張店　電話參貳壹番・五八貳番

丸石商會臺北出張所
臺北市京町三丁目

臺北市公設
千歲町食料品小賣市場
公商會員一同

臺北市永樂町一丁目二十二番地
臺灣正米市場組合
電話代表番號一七四〇番

臺灣米穀代行株式會社
電話代表番號一七四〇番

臺北市太平町六丁目
新莊觀音山自動車株式會社
電話三六三〇番

臺北茶商公會

愛國婦人會臺灣本部

日本赤十字社臺灣支部

Ford
フォード乘用車
フォード貨物・乘合車
フォードソントラクター
リンコン高級乘用車
臺灣特約販賣店
ニューエラ自動三輪車日本總代理店
ダンロップタイヤ日本總代理店
日本自動車株式會社臺北出張所
臺北市末廣町二丁目二番地
電話（長）三八七六番・四五〇五番
本社 東京市赤坂區溜池町三〇番地

臺北市明石町二丁目六番地
千代田生命保險相互會社
臺灣支部長 伊藤麻吉
電話二八七〇番

臺北醫師會

臺北市齒科醫師會

有限責任
臺北信用組合
臺北市榮町
電話五〇八番

臺北市末廣町三丁目四番地
臺灣合同電氣株式會社
臺北出張所
電話八七五番

【上海三十日發同盟】川越大使は三十日午後南京より上海に帰着、

【キャンベラ三十日發同盟】[illegible]

賀正

池田好治
今道定治郎
新見喜三
土井豐吉
田村作太郎
園部良治
藤江醇三郎
神戸駒一
江原節郎
大林組

株式會社 日滿商事臺北出張所
臺北市北門町一二

臺北市本町三丁目一番地
臺灣勸業無盡株式會社
電話 二一一 六〇〇 六九一 四五二番

合資會社 小高鐵工所

臺北市河合町一
臺灣爆竹煙火株式會社
電話壹參七番

大同生命保險株式會社
臺灣支部長 小川鐵哉
臺北市表町二丁目 電話四五一七番

臺北驛運輸業組合員一同

帽子和洋雑貨 東京式履物商
大倉本店
臺北市榮町二丁目二三角

臺灣和風會會長
宗匠 渭濵風盛花 二條家風瓶花 坊流生花 茶道久田流 家元 師範 蟹江尾州
和風會會員一同
臺北市御成町一ノ五

臺北市新起町三ノ一
松村政太郎
電話二三四八番

臺北市末廣町二丁目二番地
歯科器械 並材料 薬品商 下野盛豐堂
電話五〇九番 振替貳九五〇番

東天紅となく鷄の聲に目ざめて初日を拜することと御同慶に存じます昨年中は意外の御愛顧を賜り難有御禮申上げます本年も相變りませず倍舊の御引立の程偏に御願ひ申上ます
臺北 高雄興業部
主 高雄春吉

土地家屋賣買、有價證券賣買、金融業
七福商事合名會社
臺北市若竹町二 電話四二三番

臺灣池坊橘會

萬染物 ㊂森染工場
本店 臺北市新起町一（電話三二九番）森喜三郎
分店 臺北市兒玉町一（電二八六二番）森 吉
支店 基隆市義重町（電八八五番）前田守衆

脱脂綿製造 鈴木猪三郎商店
臺北市新富町三丁目二十一番地 電話參壹九四番

臺北市表町一丁目
臺灣コークス株式會社
電話一一三番

臺北刑務所製 籐製品 柳行李 子供乗物類
臺北市本町二ノ八 電話六七五番 中島商會
臺北市西門市場内仲店大號 店主 中島 中島分店

臺北市下奎府町二ノ八二
臺灣興業信託株式會社
電話二一七〇番

ノーリツ號自轉車臺灣總發賣元
ノーリツ販賣合資會社
臺北市本町三丁目一番地 電話 二二四六番 一八四四番

特務食鹽元賣捌人 柳井伊左衛門
臺北市新富町 電話八七八番

臺北市綠町四丁目十五番地ノ三
帝國酸素株式會社臺北支社
電話二六二七番

臺北市壽町一丁目一番地
土地建物管理取扱 池上信託商會
電話七五四番 振替七五四番

臺北市大和町二丁目五番地
土地建物管理並ニ一般仲介 常磐信託商會
主 池上喜兵衛
電話七一九番 振替一一一〇番

葬儀請負 博善株式會社
臺北市表町二ノ三 電話四一二三番

出口商店 小石川庄藏
臺北市榮町四ノ二六 電話六八五番

有限責任 工材信用購買販賣組合
臺北市壽町三丁目八番地

臺北南人力車營業組合
電話一、四〇三番

天幕シート 美坐商行 美坐時習
臺北市京町三丁目一番地 電話四一六一番

高橋電機工作所 高橋二一郎
臺北市榮町四丁目二十六番 電話貳九壹番

オフセット・石版印刷
ワタヌキ印刷所
臺北市榮町二丁目（新公園前）電話一八〇五番

臺北市京町參丁目壹番地
合資會社 淺沼商會臺北出張所
電話二九二六番

金銀時計 洋服品 古服商 流質品 祖父江商店
臺北市新起町二ノ一四 電話四參八參番

臺北市新起町二ノ三三
大歳食料品店
電話六〇三番

最新式電氣冷凍機應用
ヒノマル魚店 岩崎小虎
臺北市本町壹ノ貳參（都通り）電話貳七八參番

九州製菓株式會社臺灣販賣店
菓子問屋 Ⓐ青島商店
臺北市表町一ノ二八 電話九五貳番

アパート新榮莊
臺北市新榮町二丁目十一番地 電話一二五九番

富島農民
臺北市榮町二ノ三〇（公園前）電話二〇八四番

柳藥局

臺北鐵道株式會社
臺北市新富町五丁目五〇番地 電話一九八番

臺北地方法院所屬 司法書士 行政代理 千葉文三
事務所 臺北市建成町二ノ二（市バス建成町二丁目停留場前）

今年も不相變御引立願ひます
內地みやげ 南國物產商會
臺北市京町一丁目 電話二三〇〇番

臺北市本町二丁目
赤木內科醫院
電話五四九番

臺北市榮町
吉井印房
電話四五四三番

羅紗商 綿製品 本田猶商店
臺北市京町一 電話貳七七番

陸軍特約 官衙指定 洋服行店社
臺北市新富町五ノ二五
菊地順高等洋服店
電話三五五二番

臺北市新起町一丁目七番地
◇池田仲藏商店
電話長四三一八番 二八一一番
振替口座臺灣二五七九番
受電略號タイホクイケタ
電略（イケタ）又（イケ）

臺北市本町二丁目六十四番地
ブリキ細工業 河本義龍
電話三六七三番

食料品商 醬油特約店
丸八松尾本店
臺北市京町三 電話參六五六番

海產物 紅茶 貿易商
㊉中野十郎
臺北市宮前町一八六番地 電話長二九五〇番 紅茶製工場 振替三七二番

明けましてお目出度う本年も相變りませず倍舊の御愛顧をお願ひ致します
ホテル專屬 高砂蒸汽洗濯部
臺北市北門町七 電話一三三六番

テント シート 諸装具類 帆布加工專門
山本テント商會
臺北市新起町 電話一六六二番

糸 組紐類 內地綿布 加工品 和洋雜貨 卸小賣
㊁三村商店
臺北市御成町二丁目十九番地 電話二一三五番

臺北市末廣町二丁目
持永紙店
電話三八八二番

臺北市表町一丁目
菅商店
電話二七七四番

臺北市北門町一一番地
ライジングサン石油會社代理店
阿久澤商行 臺北出張所
電話一一〇二番

本年も相變らず倍舊の御引立てをお願ひ致します
山本園茶舖
西門市場內 電話貳四貳六番

張東隆商事株式會社
張東隆殖產株式會社
五〇 五一 五二
支店 基隆 新竹
出張所 蘇澳

臺北市京町二丁目十二番地
Ⓖ臺灣硝子販賣株式會社
取締役社長 前田久吉
電話三一九五番

臺北市幸町百七十七番地
臺灣畜產株式會社
電話七六四一五〇番

臺北市北門町八番地
大倉商事株式會社
臺北出張所
電話長一〇四〇五三五番

有限責任 臺北庶民信用組合
事務所 臺北州廳構內 臺北市新起町二丁目

トウランプ臺灣電球販賣株式會社
臺北市本町三丁目一番地 電話四〇〇番

臺北市壽町五ノ五
臺北中央市場株式會社
電話長三一七八番 三一七三番

臺灣書籍雜誌商組合

臺北南旅館組合

明日の臺灣建設を目指し

新春の第一頁、茲に希望の昭和十二年の門は放れた。過ぎし一年の我國經濟界は未曾有の繁榮に、非常な躍進を示し、わが台灣にあつても引續いての豊作好況が普く都鄙各地に浸潤、通貨は八千万円台に、貿易も七億円に迫る大躍進を以て悠々新冊しき記録を示したのである。

さて本年は如何、――國際情勢は不安依然去らず、殊に對米海軍協定の解消により我國の非常時突入の意識は愈々眞劍ならざるを得ない。國內的に見ても大增税を含む三十億の準戰時豫算編成を中心に、庶政一新は官のみならず民に對しても要望され、官民一致國力伸展に協力邁進するの覺悟が要求される。

本紙は新年初頭の一頁を割き經濟界關係方面の投稿を受けその年頭所感を茲に紹介することとした。

使命を完ふしたい
重大性を增す臺灣開拓植民のため 牛の歩みの堅實性で往く方針

臺灣拓殖株式會社社長 加藤恭平

台拓が國策會社たることは今更喋々を要しないが、近來我國民の經濟的膨脹力と共に重要度を增し、[illegible]臺灣の地理的條件は[illegible]重大性を加ふるに至つた。

開發 臺灣は總面積三百七十萬甲歩その內林野[illegible]二百五十萬甲歩に達し[illegible]その大部分が未開[illegible]

使命 は台灣の產業開發に活力を與へると共に、[illegible]

經營 の根幹をなす所以であるが、[illegible]

移住 奬勵が容易でないことは此一例を觀ても明であるが、吾邦の現狀[illegible]より[illegible]の一と考へて居る。最後に私は南[illegible]

南洋 特にシンガポールを中心に英、米、蘭の諸國が血眼となつて植民地の強化、本國化を遂行し我國の南洋に於ける商權を著しく脅かしてゐる。それは兎も角茲に丑年の新年を迎ふるに當り、台拓が今後「牛の歩みのよし遲くとも」健實なる發展を遂げ明日の台灣建設に一臂の力を致し得るやう、各方面の御指導と御協力を願ふところである(寫眞は加藤氏)

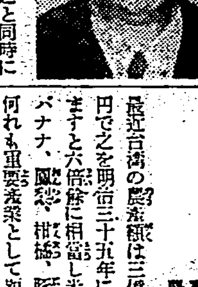
和神養素

丁丑元旦 [illegible]

台灣貯蓄銀行[illegible]松一郎氏書

財政膨脹は國力伸展の反映
國民は徒らに畏縮するなく國力發展に寄與せよ

大藏大臣 馬場鍈一



年頭に當り謹んで 聖壽の萬歳を壽ぎ奉り 皇室の彌々御目出度き御繁榮を祝し奉る。

私は昨年三月內閣成立の直後、當時の時局に對する所信を明かにすると共に財政經濟方面に於て、政府の採らんとする政策に付て其の大體の方向を示して置いたのであるが、此の所信乃至政策に付ては年が改まつたからと申して別に變るところはない。

見方に依つては現在內外の時局は當時よりも却つて一層の重大性を增して居るとも云ひ得るのであつて、此の意味から申せば愈々眞劍なる態度を以て事に當らねばならぬと考へて居る次第である。

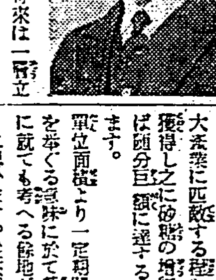
明年度の豫算總額は三十億円を超え相當飛躍的に膨脹することに相成つた。此の点に付ては色々の觀察もあらうと存ずるが、要するに之は一面に於ては我國現下の非常時局を反映し又他面に於ては我國運の進展を物語るものであるともいひ得るのであつて、政府としては[illegible]なる用意を以て之が[illegible]の基礎に對し聊かたりとも懸念を投ずるが如きことなきを期すと共に產業貿易の發展に對しては特に積極的に力を致すべきは申す迄もないところである。が之と同時に國民諸君に於ても亦、此の際非常の覺悟を以て相當の犧牲を忍び大國民としての襟度を示して貰ひ度いのである。

國運隆昌の基礎となるべき要素としては幾多のものがあらうが、就中產業貿易の發展は其の最も重要なる要素の一つであることは恐らく異論のないところであらう。私は此の產業貿易の發展こそは國民の眞の底力であるとさへ考へて居るのである。

現下の情勢の下に於ては政府としても其の重要政策の遂行に[illegible]

臺灣農業の經營立體化
眞劍に考察時代來る

臺大教授農學博士 磯永吉



最近台灣の農產額は三億六千五百万円で之を明治三十五年に比較致しますと六倍餘に相當し、米、甘蔗、茶、バナナ、鳳梨、柑橘、豚、雞等何れも重要農產として顯著なる發達を遂げて居ります。特に米の生產は二百万石より一千万石に近き[illegible]し砂糖は昭和三、四年期に於て既に一千三百万担を越え自給自足の目的を達し爾後更に增產して居ります。本年一月以降十一月迄の米移出累計[illegible]で實に本島農產の二大宗たる[illegible]。本島農業は[illegible]に伴ひ山地開發に由つて生ずべき農產發達の餘地を殘しつゝ[illegible]

[illegible]うに見受けられますが、さうばかりとは申されません、相當立體的にも發達して來たやうに思ひますが平面的餘地が豐かであつたため其方が顯著であつたとも考へられることと思ひます。然し其が狹くなるに伴ひ相關的に將來は一層立體的の發達を觀ねばならぬこととなりませう。今日は其点に[illegible]時期ではないかと思ふのであります。[illegible]

[illegible]

◇…松 兒玉希望筆

内外糖界情勢

大日本製糖會社 藤山愛一郎

世界の糖界はチャドボーン國際砂糖協約が滿了して後既に一ケ年を經過したが、英國政府の世界砂糖會議を企圖してゐると傳へられる外には未だ何等新國際

協定 の具體化を見ない。併し昨秋の歐洲金ブロックの崩壊は就中和蘭の金輸出禁止によつて一時我國の糖界にも少なからぬ衝撃を與へられたのであるが冷靜に考察すれば、之が為めに却つて世界通貨の安定は促進せられ從つて國際砂糖會議の開催も可能となるのではなからうかとも考へられる。昨年度の世界砂糖生產額は二千八百六十九万噸で前年度より實に一割以上の大增產であつたにも拘らず、砂糖

消費 は世界的に好調であつた為めに主要砂糖國に於ける在荷は何れも前年に比して著しく減少してゐる。歐洲大陸の諸國に於ては[illegible]依然自給經濟政策を持續して居り、獨逸、チエツコスロバキア、佛蘭西、[illegible]等の主要產糖國を始めとして白耳義、伊太利、其他の諸國に於ても各國其國情に依つて相違はあるが何れも糖業に對して相當に高度の統制を實施してゐる。又歐洲の大自由市場であつた英吉利に在つては既に一九三三年から其植民地產糖の輸入に對して特惠制度を採用してゐる。北米合衆國に於ては農業調整法に基き一九三四年以來國內及屬領並に

玖馬 の產糖に對して供給割當を制定して相當の效果を擧げて居るから、ルーズベルト大統領の再選に依つて此割當制度が繼續實行されることは確實である。斯くの如く近年世界產糖諸國に於ては何れも其需要の實情に適應して砂糖の生產を行ふ傾向が顯著となり其結果昨年の如く大增產にも拘らず統計的數字は著しく改善されて世界糖界は今や殆ど過去の混亂時代を拔け出し漸次確實に回復せんとしてゐる。從つて世界自由市場に於ける糖價も大底をつけて幾分上昇の途上にあることは事實であるが、之を他の商品物價の回復に比較するときは今尚少なからず安値に沈んでゐると言ふことが出來よう。

東洋 に於ける砂糖市場に就て見れば、印度の新式糖業は急速の發展をして既に自給自足の域に達せんとしてゐる。之が為めに從來其需要を充たしてゐた爪哇糖は三ケ年度に亘る大限產を敢行したるに拘らず未だ其在貨を一掃することが出來ず、而もジヤワは和蘭の金輸出禁止を契機として其消極策を放擲して積極的に大擴張の方針に變換するに非ずやと考察せられる情勢にある。又比律賓に於ては同國獨立の結果其產糖に對する北米合衆國の特惠は將來遞減せられることとなり、為めに近き將來に於て輸出產糖國となるの外なき

實情 である。されば東洋市場に於ける各產糖國の競爭は今後愈々激甚を極むべきは想像に難くないのであつて、我糖業者は今より之に對應する充分の用意をせねばならぬ。併し世界の政治的情勢は全く見透の困難な状態が內外に多いのであるから糖界の前途も亦誠に多事多難と申すべく我々糖業者は新年と共に更に新たなる勇氣と希望とを以て之を乘切らんとする覺悟である。

急迫せる國際環境と我國財界の行手
今次豫算は國民への試錬

臺灣銀行 荒木正次郎

曾て我國にとつて重大危機と稱へられた一九三五、六年も遂に終りを告げて愈々茲に海軍無條約の第一年を迎ふるに至つた。

顧みるに昨春突發した二・二六事件を契機として高橋、藤井兩藏相に依つて確立された赤字公債漸減の方策は我國非常時の認識を深むると共に[illegible]の如く脫ぎ捨てられ、其の後諸般の施策は何れも準戰時體制を基調としてあらゆる部門に亘る統制施設となりて現はれんとし、遂に[illegible]された昭和十二年度の豫算に於ては二十二億一千万円の普通歲入と八億二千万円の赤字公債とより成る三十億四千万円てふ尨大なる數字を計上さるるに至つた。

而して此の尨大なる豫算に對し[illegible]に現はれた所論の多くは非常時として之を首肯すると共に其の財界に及ぼす影響に就いては[illegible]くはインフレ景氣は避けずとするも一方に於て強力な統制施設によつて惡性インフレには至らざるべしと云ふに[illegible]してゐる。

一方事業界の趨勢を見るに既に昭和七年下半期以降三十億に上る赤字公債の撒布と低金利政策とは各方面に刺戟を與へ諸事業計畫の如き年を逐うて增加し昨年に於ては早くも九月迄に於て前一ケ年と同額の十四億二千万円に達し昨年中に於ては恐らく二十億を突破してゐるであらう。

又金融界最近の情勢を觀ふに[illegible]の增加に收益減少を來し遂に銀行は手持[illegible]行はれた預金利息の引下も却つて[illegible]下を誘致し一面銀行をして極力手持證券の縮少を計り收益の減少防止に[illegible]たる有樣であり、新規擴張の實行と諸事業界の擴張とは更に一層資金の需要を促さんとしてゐる。

思ふに事業界の健全なる發達は資金の[illegible]なる運轉により利潤は更に利潤を生んで結局撒布された資金は其儘資金に還元され再び財政に貢獻するの理ではあるが尨大な軍需工業の需要は一般の生產を委縮せしむる恐れあるを以て此点大に考慮を要する處であり、今後[illegible]

[illegible]るが、商國民としても徒らに畏縮し又は依賴心を起すが如きことなく、自らの力に依り國家の伸長發展に寄與せんとする確乎たる心構へを以て努力せられ度いものである(寫眞は荒木氏)

非常時への覺悟を喚起

商銀 山中佐太郎

昨年下期に入つてから我國經濟界に相當インフレ氣分が出現して來たことは否定出來ぬ。而も十二年度國軍豫算案は三十億を突破して居り、之が議會を通過實施に際しては極力惡性インフレの惹起を防止するやう對策するであらうが、何としてもその影響は少くない。即ち我經濟界の今後の推移については從來の情勢に[illegible]つて一概に樂觀などとして居れないものと思ふ。本島の如きも茲數年來引續き農產好況其他に惠まれて人心稍弛緩の傾きあるを認めるが本年は前記財政インフレの影響のみならず、對外關係に於て海軍無條約第一年入りの非常時局に突入するのであるから互に[illegible]を誡め南方第一線に働らく國民として堅い決心を以て國策遂行に協力する大覺悟を起さねばならぬ

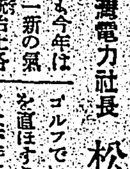
[illegible]は極力諸物價の騰貴を戒め益々輸出貿易の進展を計り國際バランスに惡影響を與へざる樣充分の注意を要するものと思はれる。政府當局に於ても既に之に對し深甚なる考慮を拂ひ或は動力の統一を行ひ工業の發展を策し之を按配して產業に秩序あらしむべく努力し一方金融機構の改善を計つてその能率を發揮せしめんとしてゐる。

更に我國の前途を見れば陸軍六ケ年計畫や第三次海軍補充計畫を控へ或は滿洲第五次五ケ年計畫の如き尨大なる支出を負擔しなければならぬのであり、今次の豫算は實に國民が果して將來此の負擔を無事に負ひ切れるや否やの試錬を受けんとしてゐるのである。

今や世界の政局は昨秋の伊エ紛爭よりスペインの革命となり或は日獨伊の[illegible]となり、又[illegible]協定が如何に世界に[illegible]日伊の近接が如何に世界の耳目を聳動せしめつつあるか今後の國際關係は愈々出でて愈々困難を加へんとしてゐる。我等國民は須く此の容易ならざる時代相をよく認識して沈着に冷靜に其の推移を見守り事に臨んで周章狼狽することなきやう豫め十分の覺悟を要すると思ふ。

私の年頭觀
先づ氣を付けよ 自分の足元に… ヘツド・アツプの癖を直したい

臺灣電力社長 松木幹一郎



台灣も今年は庶政一新の氣持で統治上各般の施設が刷新せらるる[illegible]誠に目新しい氣運に即する適切なる過程であると申したい同時に吾等台灣の民間に在るものも素より此の氣運に副つて適切なる活動[illegible]することを必要とすべきは言を俟たないところである

▽――△

そこで、吾輩の感ずる第一は、ゴルフでいふヘツド・アツプの癖を直ほすことである。吾輩はゴルフは下手である。またそれは下手な方で有名である。然しながら吾等が此運動によつて體驗し又教へらるるところのものは上手な先生達よりも必ずしも少くはない。否下手な丈に又先輩者の[illegible]に傾聽する為め却つて注意する處は多いかも知れない。從つて今ヘツド・アツプの理屈を説明しても決して冗談にはならないと思ふ。

▽――△

大體ヘツド・アツプの癖は、心と體の統一を缺いて居る場合に生ずる、體の運動と頭の働きの微妙なる連絡、統一が出來て居ない中に起る。クラブで球を打つ場合の瞬間は球を見詰めねばならぬ。それが兎角頭を上げて先方を見たがる、之は思はず出る癖であるが其時分は本當の當りは出ないのである。

▽――△

今台灣が島內開發やら南方發展やら、所謂時運の要求と共に大いに伸びようとする時に、局に當るものは兎角先の方を見たがる、又見える樣な氣がする。然し其見た處に又見えると氣がする處に目的を達せんとする場合はまづ脚下の球をみつめて打つ瞬間の用意即計畫方策について、より精密なる思索と檢討が必要であることを忘れがちになり易い。こんなことでは決して完全に目的を達せられざること丁度打つた球が外づれたり、飛ばなかつたりするのと全然同樣である。而してかかる事例は隨所にある。

▽――△

この大切なる時期に於て殊に今年の初頭に於て吾等は此ゴルフのヘツド・アツプの癖と同じやうなものを是正して第一に先づよく脚下を見つめる必要があるのではないかといふ氣持がするのである。

臺灣の日本化運動
全角度からもつと強力に

三井物產 池田卓一

過去四十年間の施政によつて本島の基礎工事は一段落を告げ正に本島の日本的、東洋的、更に世界的發展の途に上らんとするに當り我々の政治、實業各方面に於て活躍せる大先輩の功績に對して深く感謝すると共に本島の將來は只今の壯青年者の雙肩に掛つて居り其將來を祝福するものである。

凡そ一國の元氣はその為政者が年が若くて元氣があるといふ事に歸着する、必ずしも[illegible]國の古いものが老衰して居り、新國の新しいものが若壯であるとは限らない。その時に於ける為政者が若くて元氣があればその國は若返つて居る。伊太利、獨逸、アメリカ亦然り英國の如きは多少老境の觀がある。扨て我台灣に於ける為政者の元氣振りを拜見するに總督府並に軍司令部に於て幹部の御年齡を承るに左の通りである(昭和十二年一月現在)

總督府長官、部局長、知事、廳長 平均年齡四十九歳半

軍司令部參謀部並に副官部 平均年齡四十六歳

何れも働き盛りの方々ばかりで我々島民の均しく心強く感じて居る所であります。我々民間に於ては相當[illegible]の方もあり、何れも年齡に拘らず非常なる元氣を以て活動せられて居る事を喜ぶと同時に、更に壯青年者が更に〳〵活動期に入られん事を希望する次第である

本島は支那大陸と一衣帶水なれども九州迄は七百哩ある。その人口は九割が本島人にして一割が內地人である。此の距離と數の關係に於て本島の日本化の實を擧げるには餘程の努力が必要である。今後はより以上の努力を以て日本化に努めねばならないと思ふ、之をアメリカの例に見るに御承知の通り同國は英、獨、伊、佛、[illegible]ネグロの各種人種が雜然たる集合體であつて、未だ充分なる血統的、思想的融合を見て居らない。されば米國政府の最大なる努力は Americanization (アメリカ式にする事をいふ) にあり之は政府が各方面に於て活動して居るのみならず、民間に於ても努力して居る處である。例へば經濟にユニバーシテイ、セツツルメントといふのがあり、各大學の卒業生直に學生が[illegible]なる倶樂部を持つて、之に伊太利人や其他の人々を集めて[illegible]を教へて居る。その中に相當老人の人が數多教へを受けて居るのも見受けた事がある。即ち本島に於ても此の日本化の運動は今少し民間に於ても盡力せねばなるまいと考へる。此の日本化の運動は、主觀的精神から入る方法と、客觀的形式から入る方法とあるであらう。然しながら各國に於て採つて居る方法は先づ形式的方法を先として居る樣である。即ち生活樣式、風俗、習慣の如きを先づ以て全國の形式に成可く統制する事である。無論同時に日本の國體、道德觀念を[illegible]人々に教育せねばならぬ事は申す迄もない、我々商賈人の立場から觀れば實際貿易其他の商取引の如きは[illegible]

[illegible]

南への道

有田勉三郎

本島の官民が多年翹望して居た台灣拓殖會社も愈々創立を見た、之で本島としては南方經濟發展の據點として、台灣銀行及華南銀行が[illegible]あり、新に台拓が之に加はつて自ら事業を經營すると同時に、金融の其他にも當ることとなれば[illegible]羽翼相成つたと見てよからう。吾々はこれを一轉機として大に南方に對する認識を新にし、本來の使命達成に一段の努力をなさねばならぬのは[illegible]

目ざす所は、經濟的進出である。彼我共存共榮の實を擧げんとするにある、決して軍主的侵略主義ではない。然るに[illegible]の情勢は[illegible]吾吾の眞意を諒解し[illegible]、軍主的野心を抱いてゐるかの如く[illegible]て居る樣である。これには吾吾の側にも、相當の責任があると思ふ。吾々としても無用に彼等を刺戟するが如き言動を慎み、[illegible]吾吾の眞の目的を理解せしめ、[illegible]の實を擧ぐることに努めねばならぬと[illegible]

春の米價
人氣ほどには上るまい

杉原產業 井出松太郎

[illegible]

輝く強豪を迎へて
けふ臺北で野球戰

高千穂丸神戸發

賀正

土地建物管理、仲介
日本海上保險代理店

鷲洲庄協議會員 林金乞

輝く强豪を迎へて けふ臺北で野球戰

明大對CBの初試合

愈よ圓山原頭に展開

黎明瑞雲を蹴つて明け渡る—圓山原頭昭和御治世第十二年の旭日を受け本年もまた巡り來る新球譜、本社が贈る明治大學招聘野球大會第一日明對CBの第一回戰はけふ元旦午後一時半から圓山球場にその絢爛豪華の緞帳を開くのだ

◇綠の芝生に 闘は…れた白圓の外野席白きラインに包まれたダイヤモンド、ここ數年來の球場は豪華の野戰に陶醉のわれ等…の胸にどよめくわれ等を迎へて…「輝く明治」の譽を…に雄渾力を…して「臨まんとする明大」「閃光のCB」の名に賭けて必死の意氣もて見ゆるCBの龍虎…の戰に…へんとする、おゝ若き日…の戰爭今ここに大日本帝國國民としての…を新たにする光輝…として四海に…く…われ等が…の台灣に仰ぎ…

◇谷澤監督の號令…の榮に溌然一[illegible]心の戰ひを挑む…する巨人明大軍は正午威容を整へて入場、CB軍また内田監督を先頭に球場に到着、兩軍ここに相見え戰前の輕き練習を行ふ、先攻を決めてサイレンを待つ、斯くて戰機熟すや兩軍闘士はホームプレートを挾んで整列、此の時滿場起立總員國歌を唱和し國旗は外野スコアボールド側のメーン・マストに…

…揚せられ開戰を宣するのだ、午後一時半河村本社社長の始球…岡台灣體育協會長は長身をマウンドに運び球魂烈々のヴァージン・ボールを投ずる、明の强打陣に凱歌擧るか、CBの好打線に勝利の微笑は漂ふか、桑田を除いては投手陣に完投者なきCBに若干の不利は認められるが戰ひは水物、好機を摑んで押切る迫力の差が物を云ふのではあるまいか

大丈夫だ 期待に背かぬ

明大・谷澤監督談

三十一日正午過ぎ明大宿所花屋ホテルに谷澤監督を訪へば撫非キャプテンと水澤二郎手の將棋を平尾マネジヤーと共に觀戰「それ飛取つた、馬打つた」と兩目八目の監督振り、正に「英雄閑日月」の態である「雨でいけませんねえ」と持ちかけると將棋の進行を氣にしながら

練習を休みます、疲れてはゐますが一日休めば大丈夫ですよ、恒川、北澤の脚は大した事はないが二、三日休ませねばならぬでせう、CBが張り切つてゐる相ですがこちらも多士濟々です

“この一戰”だ 必ず勝つ

CB・内田監督談

決戰を前にして三十一日午後CB團内田監督を自宅に訪へば紺茶色のブレザー・コートにサージのズボンと云つた姿で縁側で劇いじりの最中であつた、「生憎の雨で」と向ける記者に應へて「大丈夫でせう、やれますよ」となかなか盛んなところを見せ、左の如く試合前の抱負を語つた

…試合の… 明大の…選手の…旅行の疲れと條件は可成り恐く夫々は元旦の一回戰に必勝を期してをります、頼みとするピッチャーの桑田が非常によく、打擊も二、四日前から漸く乘つて來ました、特に香椎、三好、田中楠木と云つたところが當つてをり田中は三十日ライナーでオーバー・フエンスを四本も出しましたよ、台北球界の名譽のために最善を盡して戰ふ覺悟でゐます

廣田首相嚴父德平翁の書初め

水害慰問船 ア港に入港

三十一日無事に

【高雄電話】ヒリッピン呂宋島のカカヤン州下一帶に亘る大水害罹災民慰問の爲め高雄州、市兩當局にて派遣した高雄州水產試驗船高雄丸は去る二十九日午後六時高雄を出港したが同三十一日午前九時アッパリー港に無事入港した旨同船より州當局あて入電あつた

お正月の天候

上層性の雨模樣だが 二日頃から回復か

二十七日から二十九日迄と快晴を續けた台北地方の天氣も西方佛領印度支那方面から押し寄せて來る二、三千米上方の上層氣流が雨氣をはらみ廈門、香港一帶の雨をそのまゝ持つて來たために全島的に三十日から雨となり大晦日三十一日更にこの傾向が著しくなつて大粒の雨を降らした、この上層氣流による雨は普通の高氣壓性による霧雨と異なつて雲は二、三千米の高方にあるため地上は無風狀態で「空晴れて雨降る」の奇現象を呈するがその期間は長くて三日間、短いもので一日位で晴れるものであるので元旦の午後あたりからこの雨は上がるものと見られてゐる、そしてその後から蒙古方面の七七〇ミリの高氣壓が押し寄せ來るがモンスーンの襲來を受けて一旦晴れかかつた台北一日の空は今度は暗雲低くたれて小雨模樣を呈するがこのモンスン性による雨は上層氣流による大粒の雨と異つて霧の樣な細雨に過ぎずしかも時々しか降らないので二日の天氣は概して良くなる傾向にあり、更に三日四日、五日と良くなる模樣であるのでこれ以上惡化しない限り島都の春を飾る本社主催の野球試合は差支へがないと見られてゐる

臺灣神社參拜者の 駐車場を一部變更

正月三日間、大祭日等に台灣神社大鳥居以內への自動車乘入れを禁止し大鳥居前に駐車するを許さず劍潭寺前廣場を駐車場とすることは正月一月、二日の參拜日に限り一部緩和され左の如く決定した
乘客は大鳥居前で下車し自動車は左側要參道と大鳥居間に七台右側派出所前に六台を限り駐車するを得、其餘は劍潭寺前に駐車すること
向參拜者は車體番號と運轉手氏名を記憶し運轉手から渡される車體番號札を紛失しないやうにせられたいと

しく皆さんの御期待に背くやうなことはしません」と謹りながらも「そこに歩を打つんだ」と水澤君をコーチしてゐる樣は眞に餘裕綽々たる將軍の姿であつた

一高千穗丸神戸發

【神戸三十一日發本社特電】結果入をして新裝を施した高千穗丸は師走の忙だしさを他所に出港したが盬田財務局長、田端海運局長、十百技師、松方帝糖社長、能澤殖產課長等一等客員の盛況であつた

盬田氏談 昨日まで豫算の細かい數字關係の打合せであつた始めての豫算に未曾有の豫算を組み得た事は愉快である、増稅は内地とは趨勢が違ふがやる事になつてゐる、マツチや蓬萊米の專賣は意見はあるが具體化してはゐない、台銀券の限度擴張は當然と思ふがさう簡單には行かない

松方氏談 北海道の第二工場も六百噸の能力で去る一月より開始したが甜菜糖は今年の步留は餘りよくない、併し今年は四十萬擔は出來る見込で昨年より十萬擔の增産は確實としてゐる

は盬田氏辰次の會長就任に伴ひ二十日評議員会…新陣容が續々決定し新陣容愈々更生第一歩を踏出すことゝなつた、副會長には湯水盬二氏並に前幹事安藤義之助兩氏が就任し盬田會長の兩翼となつて今後の庭球界發展に努力することとなつた

二日の初荷

景氣來て大馬力

昨年末に於ける台北の一般市況は國勢博覽會の後を承けて稍沈滯だつたが一昨年末に比し遙に活氣を呈し酒類、食料品の賣行よく農村の購買力旺盛は綿物類にも反映し押詰ると共に小賣方面も賣上げ著増し大賣出しは榮町の香油品券の百万枚突破、十万枚追加を始め京町も三万枚以上を追加してそれも大晦日に出拂ひとなり本町も二万枚以上追加するに至つたやうな盛況で、一面には物價の暴騰に伴ひ手持在庫品を有する商店は多少共値上り利益を得てホクホク顏である、又魚甲万販賣合社の昨年中島内販賣高二百七十万円と前年より八十万円を增加し斗、樽醬油二万樽と前年より約一万樽增加したことに依つても明かである、殊に旧臘後半より米價高、砂糖高一般物價の暴騰からして新年の經濟界は一段の活況を期待され、各商舖の意氣込み素晴らしきものがあり、二日の初荷も盛大に行はれる模樣である、即ち台北に於ける主なる會社商店の初荷は次の通りである

▲東光株式會社 四日より七日迄四日間に亘り市內並に地方、其他四門、汕頭、福州及香港向け初荷出し

▲藤田商店 老松町の同店では二日午前七時龜甲文、山サ、龜甲萬各醬油を始めアベカ石鹼、どりこの等をトラック十台に滿載して配達

▲臺灣用達株式會社 では四日午前八時濱町本社より地下足袋、アサヒ靴、ブリヂストーンタイヤ等を自動車十四台に滿載し市內各取引先へ

▲越智商店 四日午前七時より初荷左右市內を始め各地取引先に二千六百五十箱を出荷する由

▲宅商會 表町の同商會では二日午前八時よりトラック五台に滿載市內取引先へ

▲クラブ化粧品 世界の化粧品界に新紀錄をあらはし台北市にも分工場を設け初荷として總代理店神木洋行の台北、台南、台中各地區より約二千梱を新田

▲本町十一屋 四日から三日間に亘り三百五十梱初荷として市內取引所先へ配達

正月に亘り出荷の豫定

▲一六軒 新高製菓古亭町工場では例年通り二日午前十時より工場全員出動、樂隊入りトラック六台にて市內各取引先へ

▲森永製品販賣 株式會社では二日午前九時表町の本社からトラック自動車六台に森永製品を滿載し日本館子を先頭に繰出し市內各取引先へ

▲明治製菓 台北出張所で內地の本支店出張及台中、嘉義、台南高雄同樣四日午前八時に樂隊車二台を先頭にトラック四台、オートバイ一台に滿載各取引先へ

吉野丸入港

【基隆電話】郵船吉野丸は本年最終の便船として猛烈な吹き降りの中を三十一日午後一時半入港、內地から師走の遲しい空氣を運んで來たが、港外のガス猛烈でもう少しの所で基隆島にぶつける所だつたと船員は漏らしてゐた、知名者は新任保安課長樋爪清人氏と台北帝大三宅敎授位のもので總乘客百九十三名と云ふ少數であつた

茂野氏榮轉

高雄州產業技師に

督府殖產局農務課技手茂野信一氏は二十八日附で台灣產業技師に榮進、高雄州勤務を命ぜられたので同氏は三十一日午前九時五分台北發赴任した同氏は北海道出身の農學士で榮佃事業の權威者として全島的に知られ又農村自治の提唱者として著書もあり高雄の爲期待されてゐる一月五、六日頃來北挨拶廻りをなし十日頃家族同伴赴任の豫定

庭球協會陣容整備

【東京三十一日發】日本庭球協會

お祝の年賀郵便

有史以來の新記錄で

遂に八億枚を突破か

【東京三十一日發同盟】新春の初便り年賀郵便は遂に新記錄を示現した、二十九日を以て特別取扱ひを締切つた遞信省は全國各遞信局からの報告を電報で集めたところ期間中に於ける引受數は四億三千四百十六万四千通で前年同期に比し四千二百六十六万九千通增に十七万に達し昭和十年に比し六千百卅八万を增加し締切後のを加へれば例年の七億を突破し八億を加へれば全國で六億二千五百六十し右は普通三等局を含まぬ故これして一割一分二厘の增加であることの増加原因は何と云つても經濟界の好況であり軍需インフレが齎したのである、心理的にはさうならさも飛び出るだらうと遞信省は推察してゐる、景氣のバロメーター「一錢五厘」と云つた事もあらう年賀状のこの記錄的增加は先づ新春への明かな便りである

明大對CB野球戰

けふ午後一時半から圓山球場

(審判)　日垣(球)井ノ邊、山本
(八、一五)　壘側田、六、三壘側…

ラヂオ

◇…午前の部…◇　一日

【六・三〇】聖訓謹話(東京)訓勅
(一)法學博士筧克彦
【六・五〇】ラヂオ體操、今朝のお天氣のお知らせ…台北觀測所發表
【七・一〇】吹奏樂(台北)君が代、▲年頭の挨拶…台灣放送協會理事長川武治▲新年祝唱歌(台北)
【七・三〇】全國氣象通報(東京)

◇…午後の部…◇
【九・二〇】謡曲(東京)勸國田家ノ雪
【自七・四〇至九・二〇】年賀リレー放送(內地、外地聯合)
【自一〇・〇〇至一〇・三〇】子供の時間(台北)
【一一・五九】正午の時報、氣象通報(台北觀測所發表)放送局編輯ニュース慰問娛樂時間(レコード演奏)
【自一・二〇至五・〇〇】野球試合(台北)明治大學招聘野球大會實況…明治對CB第一回戰…台北圓山野球場より中繼

◇…夜間の部…◇
【五・〇〇】子供の時間(東京)
【五・二五】講演(東京)新春を迎へて…拓務大臣永田秀次郎
【六・〇〇】子供の時間(台北)
【六・三〇】講談(東京)河村瑞軒大島伯鶴
【七・一〇】管絃樂(東京)
【七・三〇】舞台劇(東京)
【八・三〇】時報(東京)
【八・三二】謡曲(台北)
【九・〇〇】長唄(台北)

二日

◇…午前の部…◇
【六・三〇】聖訓謹話(東京)詔勅
(二)法學博士筧克彦、ラヂオ體操

◇…午後の部…◇
【一一・五九】正午の時報、氣象通報、台北觀測所發表、放送局編輯ニュース、慰問娛樂時間(レコード演奏)
【自一・二〇至五・〇〇】野球試合(台北)明治大學招聘野球大會實況…明治對專賓第二回戰…台北圓山野球場より中繼

◇…夜間の部…◇
【五・〇〇】子供の時間(東京)
【六・〇〇】子供の時間(台北のみ)
【六・三〇】東西笑ひの夕(常磐中…上野鈴本亭より中繼)
【八・三二】箏曲(台北)
【九・〇〇】長唄(台北)
【九・〇五】和洋合奏(台北)

◇…午前の部…◇
【八・二〇】全國氣象通報(東京)
【七・一〇】台北觀測所發表
【八・三〇】朝の子供音樂會(東京)

大川平三郎氏逝去

貴族院議員にして台灣製紙業の相談役大川平三郎氏は豫ねて病氣中のところ三十日東京瀧野川區中里町の自邸で逝去した、同氏は我國製紙界の元老であり台灣の鬼が竹を原料とする製紙にも手を染めた人で惜まれてゐる、享年七十六

自動車衝突

昭和十一年最後の日午後一時頃鐵道ホテル前から北門の方へ行く市營バス第二二六號と消防詰所前から榮町に向つて進む新莊郡役所の自動車第一四三六號とは過つて本町一丁目十字路で衝突し自動車は前部を破損したが幸ひ乘客には別條なかつた

天氣のふけ

△台北地方　東の疾風曇時々雨
△北部地方　北東の疾風曇時々雨
△昨日の最高氣溫　六五・八度(午前十二時)台北觀測所發表

小說「御殿女中」第八面に

株式名義書換停止　昭和十二年一月一日ヨリ同年一月定時株主總會終了ニ至ル迄株式名義書換停止致候
昭和十一年十二月　高砂麥酒株式會社

大阪商船　臺灣出帆

◎基隆出帆(◎印は神戸直行)
神戸行　瑞穗丸・高千穗丸・蓬萊丸
福州上海行　盛京丸・長沙丸
厦門・汕頭・香港行　廣東丸
大連天津行　大球丸
博多北錦行　武昌丸
鹿兒島・長崎行　河南丸
新濱・花蓮港行　でりい丸
沖繩・　湖南丸

近海郵船　基隆出帆

門司・神戸行　吉野丸(四日後四時半)・朝日丸・大和丸
上海行　白山丸
天津・大連行　仁川丸
岐阜丸
香港行　…
宮崎丸(歐洲行)

辰馬汽船　出帆

織殿丸　神戸大阪行

大連汽船　基隆出帆

大連直行　西丸　東丸
代理店　山丸・組

賀正

本年も倍舊の御愛顧の程伏而御願ひ申上げ候

國際館

會葬御禮

城戸哲彦
壽彦

賀正

土地建物管理、仲介
日本火災保險代理店
高橋土地建物信託商會
臺北市京町一ノ三　電話三二七一番

書籍雜誌
臺北市京町一ノ二〇
文高書店
電話…九二六番

龍印印刷用インキ製造元
川村インキ
臺北出張所
臺北市本町三丁目

臺北市老松町一ノ八
東屋染物店
電話貳八八貳番

東京電氣株式會社
臺北出張所
臺北市本町二丁目六十九番地
電話 四六〇八番

製帽專門
カメダ帽子店
臺北市本町二丁目二十五番地

內外物産輸移出入業
株式會社 聯發商行
臺北市下奎府町

臺灣赤糖聯合會
臺北市建成町三丁目三番地

臺北州後村水利組合長
新莊郡守 林彌輔
外職員一同

有限責任 新莊信用組合
組合長　專務理事
外役職員一同

新莊街役場
街長 鄭本沼
助役 胡加賀
會計役 …仁
外職員一同

保證責任 三重埔信用購買販賣利用組合
組合長　專務理事
外役職員一同

保證責任 山脚信用購買販賣利用組合
役職員一同

保證責任 五股信用購買販賣利用組合
組合長　專務理事
外役職員一同

林口庄協議會員
公醫 野林鶴松
林口庄

和安醫院
公醫 李燦
新莊街

水飴製造
合資會社 新品珍商行
代表者 …

水飴 粳粉 米粉 麥芽 落花生 其他各種
合資會社 陳順發商行
代表者 陳

新莊郡鷺洲庄
菊岡得吉

鷺洲庄協議會員
林清敦

骨粉肥料飼料製造元
大榮商行

鷺洲庄協議會員
林詩彬

鷺洲庄協議會員
林金乞

鷺洲庄協議會員
陳崑玉
陳讚勝

鷺洲庄第四保保正
邵大錦

新莊街
北條熊人

新莊酒賣捌人
小園江隆哉

保證責任 新莊郡物產信用販賣購買利用組合
組合長　專務理事
外役職員一同

新莊食鹽元賣捌人
北野右一

陳上九
鷺洲庄

新莊街
林世南

益元藥店
李坤元

鷺洲庄協議會員
黃論語

各種鑄造鐵工場
復勝鑄造鐵工場

李本鑄造工場

新莊郡
林口庄場役場
庄長 吳培標
助役 林三郎
會計役 …
外職員一同

洋服調製並二附屬品
聯昌洋服店

北斗郡二林庄
二林信用販賣購買利用組合

北斗郡竹塘庄
竹塘信用購買組合

北斗郡二林庄
二林專賣品賣捌人組合

彰化市北門外町
合資會社 カレンダー商會
社長 曾深河

北斗郡二林庄協議會員
萬興保甲聯合會長
陳老多

北斗郡二林庄大排沙
貸地業 陳勳

明糖原料委員
北斗郡二林庄大排沙
陳春喜

北斗郡埤頭庄路口厝
蔡有

北斗郡田尾信用組合

北斗郡二林
御旅館 二林館

北斗郡
溪州信用販賣購買利用組合

北斗郡竹塘庄田頭
貸地業 黃龍

北斗郡竹塘庄面前厝
貸地業 莊日

北斗郡二林庄二林
貸地業 陳春

北投化粧料本舖